

498

開
食料
野菜。

南Livingston兵営構内に約二英畝の土地を
開耕し、Interneesに野菜類を作らせようとの計画
から、軍部方面とある代表者同様に既に流が
種あり、其処で右の土地を開く為のに分後各
エリアから四名宛毎日人員を出して、土地の整理
に従事せしむる事となり、今日は其の第一班が出
動した、兵の一から一は、井の岡を越え出た、
全長の話によると右の土地は、松林地帯であつ
て、米兵も物四ヶ名程出勤して、日本人と共に
開拓したと云ふ。勿論該開耕地の
野菜物は、Interneesの食料となるのであつて、同
胞中の専門家に近い農家が、今後耕作の指導にあ
るものと謂はれて居る。

十 水
二月九日(※)

夕飯に久し振りでhambを食べた。うんは病人
に差支へないものであるが、僕に取っては好物の一つで
あるだけに、肉を口にするを避けて居る現在の状況の身
に、誠に嬉しい食餌である。今日はさんぽに南
風が吹いて、ベツトも棚も何れによつて砂埃を一つは
いかぶつて居る。

オレゴン出身者の家族中、新設のInternees family
Centerへ夫と共にwriteする事を躊躇するも、中に
も困つたを以て、苦面をして同棲を拒んで来た
ものが相違ある。理由は子供がinternee同様の

親
子
の
別
れ
に
同
様
拒
否
。

在
米
同
胞
の
放
送
。

待遇を怖れると共に、市民権を失ふ恐れがある
と云やうだ。Center (relocation) では之に就いて
種々ケアが施されて居ると共に、若い男女が戦争と
しのぎに、ダンスや演藝などに没頭しているため、
彼等の現在の境遇も悩める事は一種の苦痛と考
へるらしい。之は断然親が要る。無論親
として今日も善良なる米の市民として教育養育と
して居る限り、今日に於て二世の教育は正しく幼稚で
もあり、現状に直面し dilemma に陥つて居る同情に
値する。だが米政府が日米市民に押し付けた
手段は、一切を清算すべき子も親も何ら選べ
る余地はない筈だ。現在親の境遇を嫌悪して
父兄の企図を拒否する如きは、既に議論するだけ
野暮だ。現状と直視し認識を得るから子や孫
米に於て一切の解決は、此の考慮を要しない。子
子たる母、母たる妻をも欲しない態度は、
今次の戦争が其の因では無く、遠い過去に遡る
教に在ると謂へやう。とまれ戦争の端緒とし
て、母子の父に對するいつはらざる真意を暴露す
に到つたものだ、同情の余地は認め難い。
夜 坪井報道によるとK-2の木村湘南君
が聴取したレディ放送にて、今迄の発表に
基けば、今日のradio newsにて日本外務大臣
は、在米同胞は直ぐ全部引き揚げ帰国すべ
いと告げた云々。此の報道は吾々が

会諸君には、大きな shock であるに違いない。然し、帰
つていくといふ諸君には、斯う自己に不利な報道は
自ら否定し度い心地で一杯であるか故に、一時は
驚いた程でもあったが、いっそのねに此問題を中心
として、やむを得ない場合は、静かである。面白
現象である。

二月十一日(木)

知元節だが、今日は吾々が井のお母の mess hall 参
看に、即ち P である。退院後、S を續き調子良く、
一日中働いたため若干疲労と感ぜ、殊に足つ疲
れは今更にある。疲れ方だ。どうもさうと違ひ、另働
であらうが、それは軽微な筋肉另働とは云ふものの、
運動と異り、やっぱり疲労の工合は、運動の程と爽快
は全く何れも病的なると矢はさう、蓋し久し振りの
経験である。

昨夜から遠く北風に、更に気温低下、寒気著しい
のがあった。石原編る寒風に堪へ難く真夜中をうたう
目を見、ストーヴに火を着け暖を取らざるを得な
かつた。時計を見ると午前一時半。再び床に入
りか眠りて復に起き出たのは四時半。相成夜具
は準備してあるがバウワウの不気全さは、こんな
風には、なかなか減るものだ、殊にベッドが寒いから
上へいそぐ厚着にも馴れ目である。春風駭蕩の
陽々たる日を満喫するかと思へば、こんな寒さか